

筑波大学法科大学院

令和6年度入学者選抜 法学未修者コース筆記試験

未修者コースの筆記試験では、読解力、論理的思考力、分析力、論述能力をみます。法律の専門知識を問うことはありませんが、法的分野に関連する問題が出ることはあります。

《出題趣旨》

【第1問】

本書は、最近よく耳にする「リスクリング」が日本で広がって定着していくかについて、否定的な立場から、その理由を分析し説明した上で、それに対する解決策を提示するものである。設問では、日本で「リスクリング」が広まっていくことを阻む最大のハードルと筆者が述べる「日本特有の学ばなさ」（何となく学ばない＝「意思の欠如」）について、従来とは異なる立場から分析し検討する本書の一部の文章を読ませて、その内容の理解を問うた。

【第2問】

設問で引用した文章は、社会において数値が重視された帰結として、社会に役に立つことへの強迫観念が生じ、序列と競争が社会のルールになっていくという経緯をたどりつつ、障害者に対する差別等の現代社会の差別と排除は、数値への信仰と切り離して考えられないという筆者の考えが述べられている部分である。このような筆者の主張を十分に理解した上で、それを適切に説明することができるかどうか、について問うた。

以 上